

# ジェルネイル被災地支援活動

新たな被災地支援活動プログラム

「ジェルネイルで被災女性の心のケアを！」 2014年10月18日（土）

国連の友Asia-Pacificでは、女性のエンパワーメント支援を目的とした「One Woman Campaign ～女性が輝く社会に向けて～」を展開しております。このOne Woman Campaignは、UN Womenが、国連機関としては初めてのテーマソングとして発表した「One Woman」のメッセージを拡く啓発する事を、UN Womenから正式依頼された事から開始しました。

このOne woman Campaignの一環として、東日本大震災女性被災者の心のケアを目的とした「ジェルネイル施術プログラム」を10月18日（土）陸前高田市片地家仮設住宅で開催致しました。

この活動は、仮設にお住いの女性達に行ったアンケート調査で、「やりたいけれど、躊躇する事」で1位となった項目がネイルである事から、そのご要望にお応えするために株式会社ジューク社の協力を得て開始する運びとなりました。

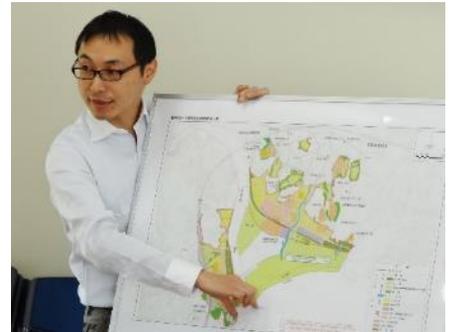
## 陸前高田市役所での合同会議



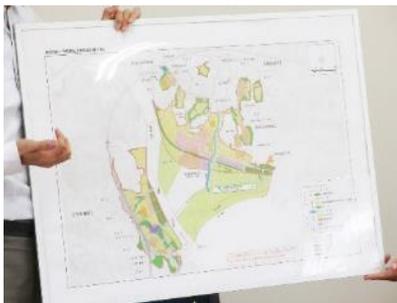
左) 陸前高田市 副市長 久保田崇 様  
右) 陸前高田市 議長 伊藤明彦 様



市長会議室にて現状報告



久保田副市長より被災地の現状説明



ボードを使用し、市内の地域別被災状況を説明



(株)ジューク 代表取締役社長 竹林正人 様からのプロジェクト開始ご挨拶

## 伊藤明彦 市議会議長 より

『震災より3年7か月が過ぎてもなお、国連の友様に於いては被災直後より、今日まで継続して支援を頂いております事をまず感謝申し上げます。また本日はネイル業界大手であります、株式会社ジューク様の竹林社長をはじめ役員、社員の皆様、そしてカリスマネイルテクニシャンの竹原様には京都からお越し頂き感謝致します。

このネイル支援は被災地仮設居住者の女性達より、「女性として輝きたい！女性の楽しみを味わいたい！けれどお願いするには躊躇してしまう！」と言った内容の手紙から始まりました。被災者の心の声に迅速にお応え頂きました事を、陸前高田市を代表し御礼申し上げますと共に、被災女性の心が輝きます事を心より願っております』と謝辞を頂きました。

## 久保田崇 副市長 より

『陸前高田市の復興状況を簡単に説明させて頂くなら、復興は未だ3割程度と申し上げなければなりません。例えば、街作りの基盤となります10mのかさ上げ工事は、山の土を掘り出し、盛り土をしている状況です。被災住民の不安要素は、生活を支える仕事と住環境の問題です。住環境の問題に関しましては、被災世帯3,842戸、仮設入居世帯、2,148戸で10月10日現在4,531人の被災者が仮設住宅に住まわれております。

陸前高田市では、復興公営住宅を1,000戸供給する予定で進めておりますが、建設予定の7.1%のみが整備されているという状況で、喫緊の課題となっております。当市から完全に仮設住宅を撤去するには後4～6年は必要となるのではないかと推測されます。

ご存知のように、仮設住宅暮らしは満足に声も出せない、子供がいても子供の泣き声に注意を払わなければならない等、お年寄りには歩いて日々の食材の買い出しにも行けない等、特に女性には相当なストレスを蓄積させるものであります。

そのような女性被災者に対する支援活動は、心を解放し、ひと時であっても女性としての楽しみを呼び起こすものと考えております。このような活動を長く続けて頂きます事を、心よりお願い申し上げます』と支援に対する期待を述べて頂きました。



市長会議室では復興に関する今後の取り組み等も話し合われました



陸前高田市役所前にて  
(株)ジューク 代表取締役社長 竹林正人 様  
他、スタッフ・ネイルテクニシャン 様

## 被災地視察



被災現場より当時の被害状況を説明



左) 菅野啓介 様 (元大工棟梁)  
右) 今野善信 様 (市議会議員)



多大な被害を受けた高田松原 道の駅を視察



建物上部金網部分まで津波が達する



追悼施設内



陸前高田市にある追悼施設にて献花

## 大船渡市役所での合同会議

次に訪れた大船渡市役所では、角田陽介副市長より大船渡市の被害及び復旧状況の説明や環境未来都市に向けた構想、被災地域のまちづくりなど未来への計画を説明頂きました。しかしながら、直面する課題は山積しており、陸前高田市同様、被災住民の居住問題が取り上げられました。9月末時点での仮設入居者数は3,130人【1,411戸】に対し、これまでに完成した公営住宅は7団地128戸と低い数値で、今後も仮設住民の心的疲労を軽減する支援が益々必要とされますと説明されました。



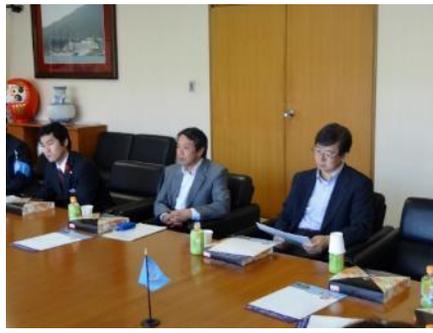
大船渡市 副市長 角田陽介 様



市長会議室にて



支援活動の内容報告



今後必要な取り組み等の話し合い



角田副市長と(株)ジュークの皆様

## 仮設住宅 住居内視察



諏訪仮設住宅・片地家仮設住宅（陸前高田市）の生活環境を視察、被災者から直接 現状をお聞きする

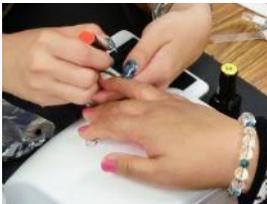
## ジェルネイル施術プログラム



施術会場には仮設住宅で暮らす多くの方々がいらっしゃいました



施術される方と会話でコミュニケーション



好みのデザインに仕上げます



お客様の施術の様子を旦那様も見られていました



ネイルテクニシャン 竹原千晴 様



喜びの笑顔



施術中も笑い声が溢れていました



ネイルを楽しみに参加



今もなお不自由な仮設住宅にお住まいの皆様はネイル施術後、とても良い表情をされていました

## ネイル施術を行って頂いた株式会社ジューク様より

両市より、復興・復旧状況の説明を受けた株式会社ジューク 竹林正人代表取締役社長は、『震災直後よりネイル業界としてずっと支援させて頂きたいと思っておりました。この度、国連の友様のお蔭で陸前高田市、大船渡市にて支援させて頂く事となり、今だからこそ必要とされる女性被災者支援に関われます事に感謝致しております。

国連の友医療団より、3年が過ぎた辺りから、被災女性のストレス値が上昇している事を伺いました。被災地が元気を取り戻すには女性の力が必要です。美しい指先を眺める事で女性が笑顔になり、お互いの指先を見せ合いながら楽しくおしゃべりできる空間を演出できるように、精一杯お手伝いさせていただきます』と語っていただきました。

## 医師によるストレス検査・女性支援のアンケート実施

医学的見解から見ても、爪は健康のバロメーターであると同時に、指先を保護し、手・足の機能に欠かすことができない重要な役割を担っているといわれ、その意味で爪の手入れ不足は、私たちの日常生活および健康上、様々なトラブルを引き起こします。したがってネイル施術は、手・足の機能を高め、健康を増進するとともに、ストレスの多い現代人の心を癒す「ストレスケア」にも繋がる可能性が高いと考えられています。



国連の友医療団 医師によるストレスチェック（唾液アミラーゼ検査）を施術前後で計測



被験者は施術後に大幅な数値減少が確認



ジェルネイルの施術を受けてもらった皆様にはアンケート調査にご協力を頂きました

ネイル施術を受けることは贅沢ではなく、  
『人が人として、文化的な営みを楽しむ行為』として一人でも  
多くの女性に参加頂ける活動にしていきたいと思っております。

東海新報 2014年10月21日 掲載記事



東海新報 2014年10月21日付 掲載記事



岩手日日新聞 2014年10月21日 掲載記事



岩手日日新聞 2014年10月21日 掲載記事

